



やまもと としあき
山本 俊明議員

「連携中枢都市圏構想」について

議員 広島県の福山市・三原市・尾道市・府中市・世羅町・神石高原町と岡山県の笠岡市・井原市の6市2町で構成する「備後圏域」は広島・岡山の県境をまたいで都市機能強化に向けた自治体の広域連携に関するモデル地域として医療協力や産業振興といった共同事業に乗り出している。この圏域構想における笠岡市の現状、将来の展望課題についてたずねる。

政策部長 ①産学金官によるビジョン懇談会、②首長会議・担当課長会議、③経済、都市機能、住民サービスの三つの研究部会などが開催されている。行政と民間が実効性の高い連携をとっている。圏域で稼いだ所得が地域外へ流出しているため地域内で所得を循環することが課題となっている。



備後圏域

笠岡市立地適正化計画について

議員 人口減少、少子高齢化を背景に新たなまちづくり計画案が発表された。JR笠岡駅周辺番町地区を中心に公共施設、住宅が集まるエリアと居住誘導区域、都市機能誘導区域を設定している。笠岡市全体の居住、都市機能のバランス、線引き廃止が目指した笠岡市との融合についての考えをたずねる。

建設部長 これまで進めてきたまちづくりを基礎として、持続可能なまちづくりを目指す立地適正化計画の策定に向けて現在作業を行っているところである。中心市街地においては都市拠点の誘導施設により中心拠点のにぎわいを創出し、その他の地域では魅力あふれるまちづくりを行う。



さいとう かずのぶ
齋藤 一信議員

イノシシ被害急増！市民の安全を守れ！

議員 近年、笠岡市内でのイノシシ被害は、農作物被害だけにとどまらず、人的被害にまで及ぶようになってきた。特に、島しょ部などでは、狭隘な地形から来る危険度は市内陸地部とは比にならない。この問題は、一部の農村地域だけの問題ではなく、生息域が広がらないよう、市全体の課題として受けとめ、対策を練っていく必要がある。早急かつ的確なイノシシ駆除対策の実現をたずねる。

市長 イノシシは、単一の市町が捕獲数を増大させたとしても、山林や海域が続いているため、他の市町から侵入して来る。既に井笠地域及び高梁川流域間の鳥獣担当職員で情報交換や意見交換を行っているが、さらに充実させるため、今後は岡山県内だけでなく、隣接



している広島県や海で接している香川県の自治体との連携も考えてまいりたい。

干拓のにおい問題 解決に向けて！

議員 笠岡市畜産クラスター協議会環境改善対策検討会で、2年にわたり、笠岡湾干拓地内臭気問題の解決に向けた検討がなされてきた。同会の検討内容が実施されれば、笠岡市民が長年心を曇らせてきた問題に一定の答えが出るのではないかと大変に注目をされている。臭気問題解決に向けた今後の取組みの具体的な計画をたずねる。

市長 牛ふんを発酵させて、メタンガスを生成し、それを燃料に発電するバイオガス発電施設などの有効性等についても研究して行きたい。